

山梨県鳳凰山麓のナガゴミムシ類

笠原 須磨生

KASAHARA, S.: Some Pterostichine Carabids from the Foot of Mt. Hô'ô-zan in Yamanashi, Central Japan

山梨県の鳳凰山は、赤石山脈の前衛をなす鳳凰山塊の主峯である。鳳凰小屋の主人細田倅市氏は甲虫類に関心が深く、その採集品に基づくナガチキムシ類 (水野, 1989)、コマツキムシ類 (岸井, 1989) などの報告もあって、これまで知見のとほしかったこの山地の甲虫相が明らかにされつつある。筆者は 1989 年 6 月に山麓の御座石鉱泉を訪ね、細田氏の案内を得て相当数のオサムシ科甲虫を採集したので、そのなかから広義のナガゴミムシ亜属に属するナガゴミムシ類 6 種を報告しておく。このうち 5 種までが赤石山系に特有の形質をそなえたもので、釜無川をへだてて奥秩父山地や八ヶ岳に分布する類縁の種群とは明らかに異なる様相を示している。滞在中、採集探索に協力してくださった細田氏に謝意を表したい。

Pterostichus spiculifer ishidai TANAKA ハラトゲナガゴミムシ赤石亜種

1 ♀, 上来沢 (標高 1,060 m), 14-VI-1989 (以下同年); 6 ♂♂, 4 ♀♀, ゴア沢 (標高 1,360 m), 14-VI.

Pterostichus uenoi STRANEO ウエノオオナガゴミムシ

3 ♂♂, 3 ♀♀, 御座石鉱泉南沢 (標高 1,100 m), 14-VI; 2 ♂♂, 1 ♀, 上来沢, 14-VI; 20 ♂♂, 19 ♀♀, ゴア沢, 15-VI.

Pterostichus latistylis TANAKA タナカナガゴミムシ

1 ♂, 御座石鉱泉南沢, 13-VI; 2 ♂♂, 1 ♀, 同, 14-VI. 上翅の第 3, 5 間室に多数の孔点を持ち、雄交尾器右側片の先端部は切断状。静岡県大井川上流の二軒小屋の個体群によく似ている。赤石山脈に固有の 1 型であろう。

Pterostichus brunneipennis akaishicus TANAKA ハネアカナガゴミムシ赤石亜種

2 ♂♂, 燕頭山 (標高 2,105 m), 10-VI (細田倅市採集); 1 ♀, 御座石鉱泉南沢, 14-VI; 2 ♂♂, ゴア沢, 15-VI. 燕頭山付近から上部の個体に比較すると山麓部のは大型で、とくにゴア沢産は大きく、一見別種の観がある。しかし、翅端部、雄の腹板末端節と交尾器の形態的特徴は明らかに本亜種のものである。同様の大型個体群は山梨県身延山などにもみられる (未発表)。

Pterostichus asymmetricus BATES ミズギワナガゴミムシ

17 ♂♂, 2 ♀♀, 御座石鉱泉南沢, 13-VI; 6 ♂♂, 2 ♀♀, 同, 14-VI; 1 ♂, 上来沢, 14-VI; 2 ♂♂, ゴア沢, 15-VI. 体が幅広く、肢が暗赤褐色の赤石山脈固有の型。溪畔の石下やガレ場の礫層中に多い。

Pterostichus masumotoi TANAKA, MORITA et SUGA マスモトナガゴミムシ

1 ♂, ゴア沢, 15-VI. 鳳凰山麓では、すでに近隣の青木鉱泉で記録されている。